コプロ・ホールディングス | 7059

Sponsored Research
2026年11月13日

Sessa Investment Research

Q2業績は想定以上に進捗、創業20周年記念配当を決定

Q2 Flash

サマリー

コプロ・ホールディングス(以下、同社)は、11月12日(木)に2027/3期Q2の決算を発表した。売上高、営業利益、経常利益は2桁の増収増益となり、いずれもQ2として過去最高を更新した。親会社株主に帰属する中間純利益(以下、当期純利益)は前年同期比3.4%減益となった。のれん償却費を加算した税引前当期純利益は増益となったものの、税金費用の増加が影響した。売上高および営業利益以下の各段階利益は、Q1決算発表時に上方修正したQ2業績予想を上回った。Q2のNon-GAAPベースの償却前営業利益は3,307百万円(同90.1%増)、のれん償却前当期純利益は1,988百万円(同94.7%増)であった。

■ 2027/3期Q2の主要子会社業績

コプロコンストラクションは、売上高が16,943百万円(同11.7%増)、営業利益は2,533百万円(同20.3%増)となった。売上総利益率が前年同期比1.1ポイント上昇したことなどが営業利益を押し上げた。施工管理フィールズ(2026年10月1日にトライトエンジニアリングから商号変更)は、売上高が9,760百万円、営業利益は383百万円となった。買収による子会社化のため、前年同期比は記載していない。コプロテクノロジーは、売上高が1,476百万円(同18.5%減)、営業損失は4百万円(前年同期は9百万円の営業損失)であった。2026年3月に実施したIT技術者派遣事業の売却の影響を除くと、売上高は前年同期比26.8%増収となった。

■ 通期業績予想は据え置き、KPI前提を修正

Q2決算は従来予想を上回ったものの、2027/3期通期業績予想は、8月のQ1決算発表時に公表した予想を据え置いた。一方、上期実績を踏まえ、業績予想の前提となる各種KPIを見直した。例えば、採用数は従来予想を468人上回る3,688人を見込んでいる。一方、人材紹介数は従来予想の563人から363人へ200人引き下げた。2027/3期の中間配当金は、創業20周年記念配当の5.0円を加え、1株当たり20.0円とした。年間配当金は50.0円を計画しており、前期比10.0円の増配となる見込みである。SIRでは今後、会社取材を踏まえ、フォローアップレポートを発行する予定である。

百万円、%、円	売上高	YoY	営業利益	YoY	経常利益	YoY	当期純利益	YoY	EPS(1)	DPS(1)
2024/3期	24,098	*28.2*	2,141	*62.0*	2,211	*67.0*	1,463	*69.3*	37.20	25.50
2025/3期	30,015	*24.6*	2,763	*29.1*	2,784	*25.9*	1,820	*24.4*	47.09	30.00
2026/3期	36,661	*22.1*	3,632	*31.4*	3,665	*31.6*	2,880	*58.2*	74.64	40.00
2027/3期(会予)	57,650	*57.2*	3,875	*6.7*	3,426	*-6.5*	1,660	*-42.4*	43.31	50.00
2026/3 Q2	16,980	*19.3*	1,481	*19.7*	1,480	*17.7*	935	*17.3*	24.27	15.00
2027/3 Q2	28,180	*66.0*	2,098	*41.7*	1,852	*25.1*	904	*-3.4*	23.44	20.00

出所：同社決算短信よりSIR作成。SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。(1): 株式分割を反映した遡及修正後のEPSとDPSを記載している。EPSは潜在株式調整後の数値。

中嶋　俊彦
シニアアナリスト
research@sessapartners.co.jp

本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧下さい。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したものですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。

SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp